

## 平成 22 年度第 2 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会 議事録（案）

日 時：平成 22 年 12 月 20 日（月）午後 4 時 40 分ー 午後 5 時 40 分

場 所：東京工業大学蔵前会館 1 階 ロイヤルブルーホール

出席者（敬称略）：森田、丸井（代理古谷）、寶、加賀屋、植松、桑野、矢田部、廣岡、間瀬、吉田、藤田、盛川、西上、藤吉、牛山、真木、牧、岡田（所長、オブザーバー）、井口（オブザーバー）、大志万（オブザーバー）事務局：小林

### 配付資料

- 1 平成 22 年度第 1 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録（案）
- 2 京都大学防災研究所自然災害研究協議会委員名簿・出席者名簿
- 3 平成 22 年度各地区部会でのこれまでの活動報告及び今後の活動計画  
資料 3-1 北海道地区、3-2 関西地区
- 4 平成 22 年度予算執行状況
- 5 重点推進型共同研究（災害調査）について
- 6 人材データベースについて（口頭、資料なし）
- 7 平成 23 年度京都大学防災研究所共同研究について
- 8 防災学・防災科学関係学科・コースに関するまとめ
- 9 京都大学防災研究所自然災害研究協議会委員名簿（任期入り）
- 10 京都大学防災研究所自然災害研究協議会規程、申合せ

- ・開会に先立ち、京都大学防災研究所長 岡田憲夫教授より挨拶があった。
- ・前回議事録の確認（資料 1）および出席者（代理）の確認（資料 2）と挨拶があった。

### 議 事：

1. 平成 22 年度のこれまでの活動報告及び今後の活動計画について  
(1)地区部会報告（資料 3-1～3-2）  
各地区部会から概略の報告があった。詳しくは、次回第 3 回の協議会で報告される。  
(2)平成 22 年度予算執行状況について（資料 4）  
まだほとんど使われていないが、2 月 16 日までにすべての経費書類を総務担当に提出してほしいとの説明があった。
2. 重点推進型共同研究（災害調査）について（資料 5）  
「平成 22 年 10 月奄美大島豪雨による土砂災害及び観光資源の被災調査」が提案され、実施されることが承認された。これからの運用においては、突発災害調査委員会に諮った後は、担当者と総務の最終判断により早急を実施する。
3. 人材データベースについて（資料 6）

各地区部会にデータ入力をお願いすることになった。

4. 平成 22 年度自然災害科学総合シンポジウムの開催について  
総参加者は 52 名であった。
5. 平成 23 年度京都大学防災研究所共同研究について（資料 7）  
来年度の研究申請を 2 件行った。テーマは今年度を継承するものである。
6. 防災教育に関する提案（資料 8）  
オブザーバーの京都大学防災研究所副所長大志万教授より、学部教育に防災を含めたらどうかの説明があり、協議会でどのようにするかを相談して欲しいとの要望があった。
7. その他（資料 9、10）
  - ・来年度委員の交代（継続して 4 年を超えることができない）に際して、後任を推薦願いたいとの説明があった。
  - ・牛山委員から防災関連研究をしている機関の一覧表を次回の協議会に持ってくるとの報告があった。

配付冊子等

D P R I Newsletter No.58

（文責：間瀬）